

# おいしい うれしい たのしい こころあったまるコープのお店



コープネットは、会員生協と共同で店舗の開発を進め、店舗運営の仕組みや発注、POSなどのシステム、人材の育成や店舗経営のノウハウも統合し、リージョナルチェーン本部としての機能を果たしています。

1都6県\*で約170店舗を展開し、ふだんの暮らしを支える品ぞろえと「毎日低価格」を追求し、「地域に根ざした店づくり」を進めています。

\*コープにいがたは店舗はございません

## SM店(スーパーマーケット)

コープ商品、産直商品を中心に、ふだんの食事からグレードや嗜好性などの要望にも対応できる品ぞろえをしています。商品の情報をわかりやすくお知らせし、おいしさ、安さ、買いやすさ、商品の品質管理のよさで地域一番を目指します。

## 小型店(ミニコープ)

150坪未満の小型店舗。コープ商品、産直商品を中心に、毎日の暮らしに必要な利用頻度の高い商品に絞り込んだ品ぞろえをしています。



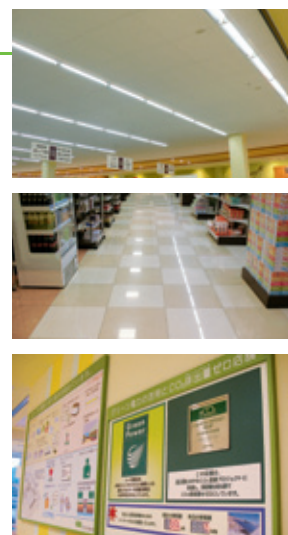


## 環境に配慮した店舗を出店

新規を出店する際は、日生協連の「エコストア・コンセプト」に基づき、従来の店舗よりもCO<sub>2</sub>の排出量を20%削減した省エネ型店舗にしています。

- ・白熱灯をLED照明に変更
- ・高効率の反射板を使用し、天井照明を2灯型から1灯型に変更
- ・少ない照明で売り場を明るくするため、床を光沢のあるセラミック素材に
- ・冷凍・冷蔵品ショーケースの奥行きを減らして冷却効率を向上。一部で中間棚の照明を撤去
- ・閉店後、冷凍・冷蔵品ショーケースをカバーで覆い、冷気の漏れを防止
- ・電力使用量のモニタリングシステムを導入し、省エネ機器の効果を常時検証

さらに、電力を自然エネルギーでまかなう「グリーン電力」や、CO<sub>2</sub>の排出権を購入して相殺する「カーボンオフセット」の仕組みを活用し、店舗から排出されるCO<sub>2</sub>をゼロにしています。2008年に日本で初めてさいたまコープがCO<sub>2</sub>排出ゼロ店舗を出店し、2011年4月までにグループ全体で7店舗出店しています。



## ● レジ袋の削減に取り組んでいます

全店でレジ袋の削減に取り組んでいます。レジ袋の有料化を進めるとともに、行政と協力したレジ袋削減も広がっています。レジ袋の想定削減率は、コープネットグループ全体で70%（2010年度）になっています。



## ● 人にやさしい店づくり

車椅子での買い物がしやすいように通路幅を広くしたり、呼び出しインターホンを店頭入口に設置して、高齢者や障がい者の方にやさしい店舗づくりや施設の改善・整備に取り組んでいます。



## ネットスーパー

2010年4月から一部店舗で店舗型のネットスーパーの実験を始めています。

